

第86期  
中間報告書

平成27年4月1日~平成27年9月30日

Micro&Fine Technology

## 【 経営理念 】

私たちは、お客様にとって価値のある商品とサービスの提供を通じて社会の発展に貢献します。

私たちは、情報を重視し、世界の変化にすばやく適応するため、技術・知識・行動の革新に挑戦し続けます。

私たちは、利益ある発展と、創造性豊かでいきいきとした企業風土の確立を目指します。

---

### 当社の経営方針について

当社はステンレス鋼線並びに金属繊維（ナスロン）を主力製品とし、長年に亘り培ってきた技術力と新しい技術分野への挑戦により、お客様にとって価値ある商品とサービスの提供を通じて社会の発展に貢献することを経営の基本理念といたしております。

また、株主の皆様並びにお取引先など、内外の関係先からの信頼と期待に応えるため、常に世の中の変化に迅速に対応できる柔軟な経営体制の構築を通じて、安定した収益基盤の維持・拡大を図るべく事業活動を展開してまいります。

## 株主の皆様へ

---

日本精線は、ステンレス鋼線のトップメーカーとして、次世代素材、技術開発をリードしつづけています。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第86期中間期(第2四半期累計期間、平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

平成27年12月



代表取締役社長

近藤 龍夫

当中間期(第2四半期連結累計期間)におけるわが国経済は、企業収益や所得・雇用環境の改善に支えられ、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国など新興国経済の減速懸念や、世界同時株安をはじめ金融情勢に不安定さが見られるなど、景気の先行きは予断を許さない状況となっております。

当社及び連結子会社(以下「当社グループ」という。)が属するステンレス鋼線業界では、建材関連の需要が低調であったため、業界出荷数量は、前年同期比減少となりました。

このような状況下、当社グループでは、連結経常利益40億円以上、連結経常利益率(ROS)10%以上などを経営目標とする『第13次中期計画(SR17)』(最終年度平成30年3月期)の達成に向け、収益の一段の向上に鋭意取り組んでまいりました。

当中間期の売上高につきましては、主力のステンレス鋼線部門では、販売数量が前年同期に比べ大幅に減少しましたが、高機能・独自製品の販売金額が堅調に推移した結果、前年同期比微減にとどまり、また金属繊維部門では、主力のナスロンフィルター及び超精密ガスフィルター(ナスクリーン)ともに堅調に推移しました。これらの結果、

当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比ほぼ横這いの164億55百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

損益につきましては、耐素龍精密濾機(常熟)有限公司が中国経済減速の影響を受け低調に推移したことが影響し、営業利益は14億5百万円と前年同期比0.7%の減益となったものの、為替差益の増加等もあり、経常利益は14億77百万円(前年同期比4.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億88百万円(同7.3%増)と前年同期比増益となりました。

なお、中間配当につきましては、直近の業績動向や財務状況等を総合的に勘案のうえ、本年4月に公表いたしました配当額より1円増配し、1株につき6円とさせていただきます。

次に部門別の概要についてご報告申し上げます。

### ステンレス鋼線部門

鋸螺用が国内の建材関連需要が低調に推移したため、ステンレス鋼線全体の販売数量は前年同期に比べ大幅に減少しました。一方、『第13次中期計画(SR17)』の重点施策である高機能・独

自製品の販売金額は堅調に推移いたしました。

また、海外現地法人であるTHAI SEISEN CO.,LTD.につきましては、日本国内での建材需要低迷等の影響を受け、ステンレス鋼線の販売数量は減少し減収となりました。

これらの結果、ステンレス鋼線の売上高は140億31百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

## 金属繊維(ナスロン)部門

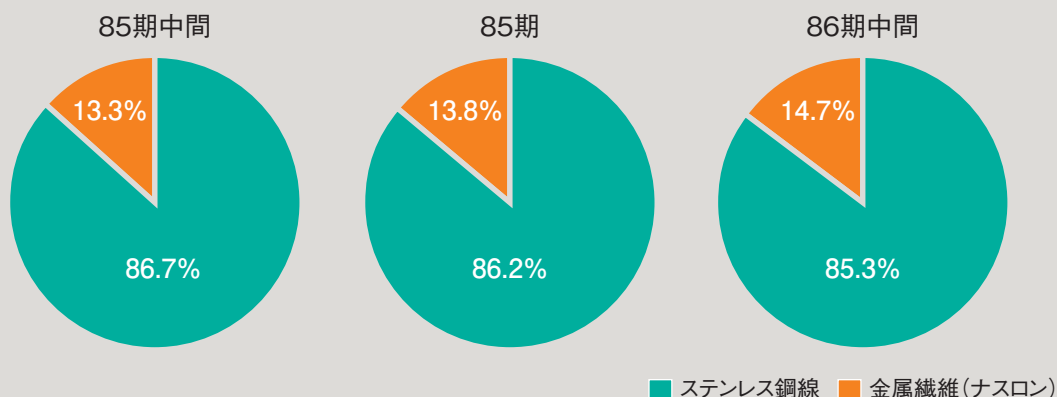
主力のナスロンフィルターは、ポリエステルフィ

ルム向けに加え、液晶用など高機能樹脂用途についても堅調に推移し増収となりました。また、超精密ガスフィルター(ナスクリーン)も韓国や台湾での半導体メーカーを中心とした設備投資が高水準で推移したため、増収となりました。

一方、海外現地法人である耐素龍精密濾機(常熟)有限公司につきましては、中国経済減速等の影響を受け、売上高は減少しました。

これらの結果、金属繊維の売上高は24億23百万円(前年同期比11.0%増)となりました。

部門別売上構成比(連結)



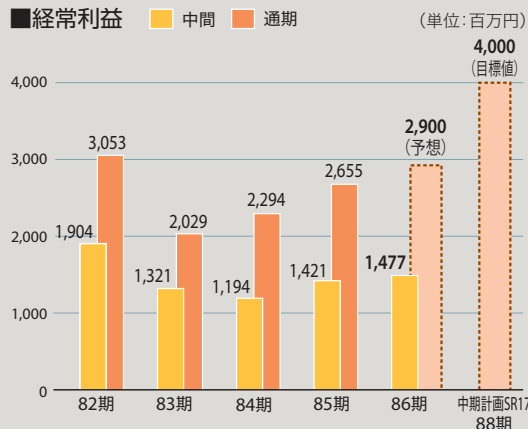
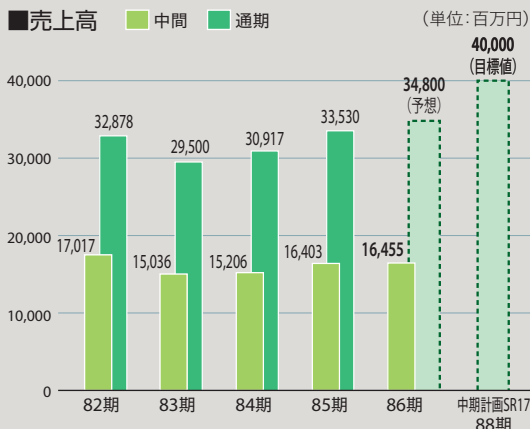
今後の見通しといたしましては、中国など新興国経済の減速懸念や金融情勢に不安定さが見られる等懸念すべき課題は山積しております。また、業界特有の問題として、当社グループの主力製品のステンレス鋼線は、中国や韓国のステンレス鋼線メーカーとの競争激化による収益低下などの懸念があり、加えてニッケル価格に起因する原材料価格の変動リスクなど厳しい環境下に置かれております。また、金属繊維（ナスロン）も化合繊維向けなどの一般汎用製品については競争が激しくなっております。

こうした中で当社グループはかかる経営環境に対応するべく、より筋肉質な企業基盤を目指し、既述の『第13次中期計画（SR17）』の課題に

鋭意取り組んでおります。

具体的には、ステンレス鋼線部門において、販売面では国内外市場に対し、ばね用材や極細線をはじめとする高機能製品、自動車向け耐熱ボルト用材や高合金線などの独自製品の拡販に加え、新用途製品の立ち上げ、さらには円安を背景に海外での販売拡大を推進しております。一方、生産面では需要家のグローバル展開に対応して海外2工場の拡張や、枚方工場の物流改善の推進等により、引き続き国内外の最適生産体制の構築を進めてまいります。開発面では当社グループの保有する技術力・ノウハウに大同特殊鋼グループの技術力を結集することによる新製品開発の強化や新規事業の確立などに引き続き取り組

## 業績の推移(連結)



第83期の経常利益については、固定資産除却損の表示方法の変更を実施したため、遡及処理後の数値を記載しております。

んでまいります。

金属繊維部門では、中国・韓国の現地法人の活用による海外市場への拡販、また、国内でもより高機能化・高精度化する需要に応えるべく技術開発を継続して実施してまいります。

新規分野では、環境負荷物質を含まず高強度・高導電性を有するばね用銅系合金線(商品名:エレメタル)などの新製品・新用途製品の拡充、さらには今後の水素社会化に向け、水素分離膜モジュールや有機ハイドライドから水素を発生させる反応モジュールの商品化などにも鋭意取り組んでまいります。

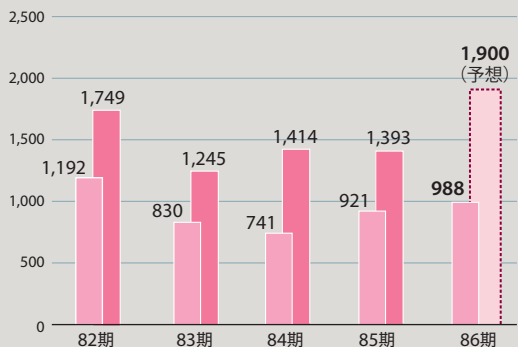
以上の諸施策を確実に実行することにより、収益の一段の向上を図るとともに、事業のグローバ

ル化推進や高度化・多様化する顧客ニーズへの対応などにより、『さらなる企業価値の向上』を目指してまいります。

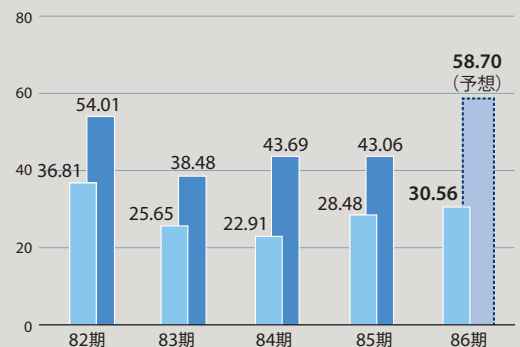
なお、当第2四半期連結累計期間の業績は概ね順調に推移しており、平成28年3月期の連結通期業績につきましては、平成27年4月28日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

株主の皆様におかれましては、何卒、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

■当期純利益 (単位:百万円)



■1株当たり当期純利益 (単位:円)



# 連結決算

## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期末 (平成27年9月30日現在)	前第2四半期末 (平成26年9月30日現在)	前期末 (平成27年3月31日現在)
<b>資産の部</b>				
流動資産		23,095	22,911	23,540
現金及び預金		9,791	9,403	9,790
受取手形及び売掛金		6,921	7,213	7,112
商品及び製品		2,120	1,976	1,853
仕掛品		2,483	2,606	2,728
原材料及び貯蔵品		1,315	1,257	1,480
繰延税金資産		255	269	390
その他		205	184	184
固定資産		12,508	12,182	12,403
有形固定資産		9,915	9,611	9,845
建物及び構築物(純額)		3,058	2,744	3,162
機械装置及び運搬具(純額)		4,565	4,808	4,734
土地		1,600	1,594	1,612
リース資産(純額)		3	9	6
建設仮勘定		468	230	110
その他(純額)		219	224	218
無形固定資産		304	251	224
投資その他の資産		2,288	2,318	2,334
資産合計		35,603	35,093	35,944

\*財務諸表は以下に基づき作成しております。

- ①当第2四半期累計期間(末)及び前第2四半期累計期間(末)は四半期連結財務諸表規則に基づき、それぞれ作成しております。
- ②記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ③第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」等を用い、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

科目	期別	当第2四半期末 (平成27年9月30日現在)	前第2四半期末 (平成26年9月30日現在)	前期末 (平成27年3月31日現在)
<b>負債の部</b>				
流動負債		6,261	6,664	7,053
支払手形及び買掛金		3,817	4,197	4,212
短期借入金		690	678	718
未払法人税等		434	541	526
賞与引当金		574	550	561
役員賞与引当金		—	—	30
その他		745	696	1,004
固定負債		3,824	4,130	3,914
長期借入金		185	531	358
役員退職慰労引当金		120	132	145
退職給付に係る負債		3,519	3,440	3,409
資産除去債務		—	21	—
その他		0	4	1
負債合計		10,086	10,795	10,967
<b>純資産の部</b>				
株主資本		25,158	24,024	24,332
資本金		5,000	5,000	5,000
資本剰余金		5,446	5,446	5,446
利益剰余金		14,752	13,615	13,925
自己株式		△ 39	△ 36	△ 38
その他の包括利益累計額		98	45	370
その他有価証券評価差額金		86	143	159
繰延ヘッジ損益		△ 0	—	△ 0
為替換算調整勘定		86	△ 35	299
退職給付に係る調整累計額		△ 74	△ 63	△ 88
非支配株主持分		259	228	273
純資産合計		25,516	24,298	24,976
負債純資産合計		35,603	35,093	35,944



## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	期別		
		当第2四半期(累計) (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	前期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
売上高		16,455	16,403	33,530
売上原価		13,612	13,637	28,090
売上総利益		2,842	2,766	5,440
販売費及び一般管理費		1,437	1,351	2,838
営業利益		1,405	1,414	2,601
営業外収益		95	34	137
営業外費用		23	28	84
経常利益		1,477	1,421	2,655
特別利益		0	0	53
特別損失		-	-	369
税金等調整前四半期(当期)純利益		1,477	1,421	2,339
法人税、住民税及び事業税		390	504	937
法人税等調整額		104	△11	△5
四半期(当期)純利益		983	927	1,407
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失		△5	5	14
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益		988	921	1,393

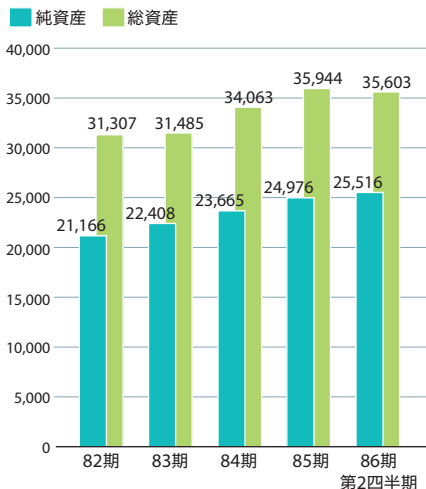
## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	期別		
		当第2四半期(累計) (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	前期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,043	889	2,789
投資活動によるキャッシュ・フロー		△641	△435	△1,805
財務活動によるキャッシュ・フロー		△339	△340	△681
現金及び現金同等物に係る換算差額		△17	39	221
現金及び現金同等物の増減額		44	153	524
現金及び現金同等物の期首残高		9,704	9,179	9,179
現金及び現金同等物の四半期末又は期末残高		9,749	9,333	9,704

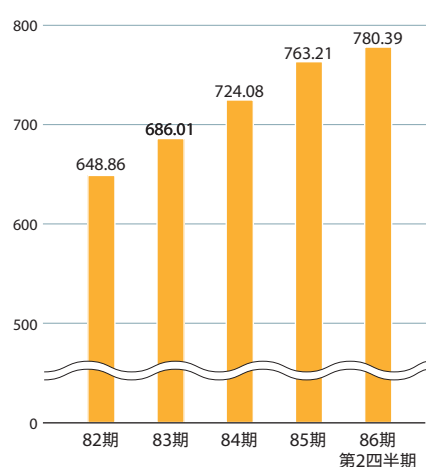
## ■総資産・純資産(連結)

(単位:百万円)



## ■1株当たり純資産(連結)

(単位:円)



# 会社の概況 (平成27年9月30日現在)

## 会社概要

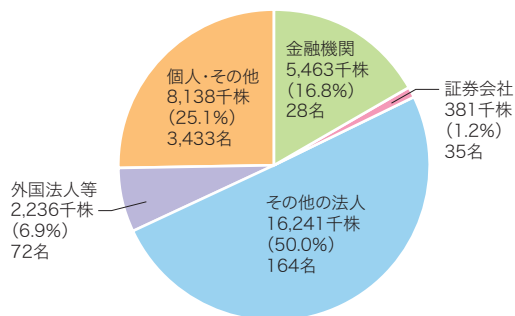
商号 日本精線株式会社  
(英文名 NIPPON SEISEN CO., LTD.)  
設立 昭和26年6月30日  
資本金 50億円  
従業員数 539名  
ホームページ <http://www.n-seisen.co.jp/>  
アドレス

## 当社グループの主な営業品目

ステンレス鋼線、ステンレス鋼直棒・異形線、高合金線、チタン線、金属繊維(ナスロン)及びその加工品、金属繊維焼結フィルター、半導体用超精密ガスフィルター、ダイヤモンドダイス、溶接棒、その他金属線

## 株式の状況

- 発行可能株式総数 82,800,000株
- 発行済株式の総数 32,461,468株
- 当第2四半期末株主数 3,732名
- 所有者別株式分布状況



## 当社グループの主要な事業所

### ■当社

本社 大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号(興銀ビル)  
支店・営業所 大阪(大阪市中央区)・東京(東京都中央区)  
名古屋(名古屋市中区)・九州(福岡市中央区)  
工場 枚方(大阪府枚方市)・東大阪(大阪府東大阪市)

### ■主な子会社

会社名	出資比率	所在地
THAI SEISEN CO., LTD. (*)	95%	タイ国サムットプラカーン
耐素龍精密濾機(常熟)有限公司(*)	70%	中国江蘇省常熟
大同不銹鋼(大連)有限公司	74%	中国遼寧省大連

(\*)は連結対象子会社

### ■大株主

株主名	持株数	持株比率
大同特殊鋼株式会社	13,103 <sup>千株</sup>	40.48 <sup>%</sup>
日本冶金工業株式会社	1,688	5.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,408	4.35
株式会社みずほ銀行	1,086	3.35
特殊発條興業株式会社	532	1.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	482	1.48
前尾和男	472	1.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	421	1.30
株式会社池田泉州銀行	401	1.24
株式会社三菱東京UFJ銀行	338	1.04

(注)持株比率は自己株式(95,752株)を控除して計算しております。

## 役員

### 取締役及び監査役

(\*印の取締役は執行役員を兼務しております)

代表取締役社長	近藤龍夫
*取締役	岸木雅彦
*取締役	多賀正宏
*取締役	秋田康明
取締役	立花一人
取締役	花井健彦
取締役	関公彦
常勤監査役	住友清志
常勤監査役	浮田昌秀
監査役	野中章男
監査役	花輪博

### 執行役員

常務執行役員	岸木雅彦
常務執行役員	多賀正宏
常務執行役員	川端泰司
常務執行役員	西田成夫
執行役員	安部明夫
執行役員	大間英之
執行役員	富永誠司
執行役員	秋田康明
執行役員	吉田厚之
執行役員	津田俊之
執行役員	加藤泰資

## 株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 その他必要のあるときは、取締役会で決議し、 あらかじめ公告する一定の日
剰余金配当の基準日	期末 毎年3月31日 中間 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告掲載方法	日本経済新聞に掲載
証券コード	5659
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ●電話 0120-288-324 (フリーダイヤル) ●インターネット <a href="http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/">http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/</a>

**NIPPON SEISEN CO., LTD.**

---

